

修練会の気になる 1冊 (ほん・本・ブック)

公益財団法人豊島修練会 2019年3月27日号 (通算第28号)

子どものほん (子ども、小学生&中学生)

小川洋子文「奇跡の山さよなら。名犬平治」 偕成社 本体 1165円

主人公の少女(敦子)は、次々と起こることにショックを受け、ついに失語症(しつごしょう:話すこと、書くこと、聞くこと、読むことができなくなる病気)になってしまい、自分の中に閉じこもってしまいます。

ところが、トラックから投げ出されて拾われた子犬が、名前を平治と付けられて登山客を案内するガイド犬として育てられ、少女と出会った。そして、登山客を案内するとともに、多くの命を救い活躍した。そして、おじいさんの清三との触れ合いを通して、少女は少しずつ心を開き、言葉を取り戻し、自分を取り戻していくという物語です。高学年向きです。



大人の本 (パパ&ママ、ジジ&ババなど)

鈴木るりか著「さよなら、田中さん」 小学館 本体 760円

著者は、平成15年生まれの中학생で、本書を平成29年に書いて、将棋の藤井聡太7段に勝るとも劣らない話題の人です。

主人公の田中花実(はなみ)は母との二人暮らしで、経済的には貧しいが、たくさん食べ、思い切り笑、楽しく過ごしている。そんな日常生活のあれこれを書いた小説で、笑わせてくれたり、時にはポロリと泣かせてくれたりする小説です。

友人とお父さんの交流を描いた「いつかどこかで」、お母さんの再婚話に切ない思いをした「花も実もない」など、大人も十分楽しめる内容である。大人の小説家も、想像力豊か、信条の描写が見事などと、絶賛しています。



学校の先生のブック (小学校・中学校の先生)

「児童心理 2019年2月号」 金子書房 定価 916円 (税込)

「子供の心を育む教師と親のために」をスローガンにして、実に73年間にわたって発行してきた月刊誌である。ところが諸般の事情により今月号をもって休刊となることになりました。誠に残念かつ寂しいことです。書棚のバックナンバーは大切に保存し、時々々の課題に合わせて紐解き、参考にするつもりです。

最後の号の特集は、「スマホのルール」で、「スマホ時代の子供の成長—新たな人間疎外状況の下で」「ネットいじめの認知と対応」「スマホ漬けが招く子育ての危機」「小学校低学年・高学年の子に与えるルール」「情報モラル教育の実践」「情報社会の親力(おやりよく)とは—その可能性と限界」などを扱っています。

子供の指導に当たる教師にとっても、子供のしつけに悩んでいる保護者にとっても、大変参考になる内容がつまっています。(BOKE 三宅)

★備考★なお、話題提供のために本を紹介しているだけで、購読を勧めるものではありません。[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」「気になる1冊」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「成美教育文化会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。

